

京都府高等学校体育連盟主催事業における 新型コロナウイルス感染予防対策【専門部ルール】

専門部名： ボウリング 専門部
策定日： 令和 3 年 4 月 15 日

1、大会開催の専門部独自条件について

- 大会を開催するボウリング場において従業員にコロナ陽性者が開催日3日前までに出了ことが判明した場合、大会は中止する。

2、大会参加条件について

- 大会参加者に大会2週間前からの健康観察を義務づけ、その間体調に異常があった場合参加は認めない。

3、大会当日の検温における発熱者確認時の対応

- 大会会場において、発熱者が出た場合、速やかに関係者（機関）に連絡し、帰宅（受診）を促す。
- 発熱者が、新型コロナウイルスに感染している可能性がある場合は、所属する学校の選手は大会に参加できない。
- 「新型コロナウイルスに感染している可能性」については、発熱者の家族等に聞き取りを行い、発熱者の周囲に過去2週間以内に感染者がいないか念入りに確認をとり、チームの責任者と感染予防対策担当者が判断する。

4、大会申込後に出場を辞退する学校（チーム）がでた場合の対応

- 対応に応じ、キャンセル料などは徴収しない。

5、学校（チーム）応援者・観客について

- エントリーメンバー以外でも、部に所属する生徒は来場可。
- 保護者の入場については、選手1名につき保護者1名までとする。
- 発声を伴う応援は一切禁止する。

6、専門部独自の感染症対策について

○ 競技において

- 1 Box（2レーン）に入る選手の数に4名以内で競技を実施する。
- 競技前の挨拶では、握手はしない。
- 競技中（打球中や打球の待ち時間を含む）は常時マスクを着用する。（フェイスシールドやフェイスガードの類は認めない）
- ハンドタッチやグータッチ、その他選手同士の肌と肌が接触する行為は禁止する。（チームメンバー同士でも禁止）
- ボールを拭くタオルは各自のものを使用する。（他選手との共用は禁止）
- スコアカードを記入する筆記用具は各自で用意する。
- 競技中に叫んだり、大声を出すことは禁止する。
- 他選手の競技用具には触れない。
- こまめな水分補給をする。
- 競技終了後は必ず手を洗い、発生したごみは必ず各自で処分する。
- やむを得ない場合を除き、競技終了後は速やかに会場を出る。

○ 表彰式において

- 出席役員はマスクを着用する。
- 表彰者はフェイスシールドもしくはマスクを着用する。